

# 「対馬学フォーラム 2018」ポスター発表大会発表要領

対馬学フォーラム事務局

## 1. 発表形式

来場者と発表者の交流を促すため「ポスター発表形式」で発表を行います。

〈ポスター発表とは〉

ポスターセッションとは、取り組み内容や成果を紙ベースでまとめたものを規定のスペースに掲示し、来場者に報告を行う発表形式です。

発表に対し、来場者全員による投票を行い、上位優秀発表については表彰させていただく予定です（対馬市長賞等）。

## 2. ポスター発表大会実施概要

会場内にポスターを掲示し、発表時間内に来場者への説明や意見交換・情報交換を繰り返していただきます。

ポスターの展示期間・発表時間は以下のとおりです。

〈展示期間〉

平成30年12月9日（日）～12月24日（月）17時

〈発表時間〉

平成30年12月9日（日）13:00～16:00（予定）

※フォーラムの開会は10時00分です。ポスター発表は、午前の部終了後、午後の部からになります。現在、ポスター発表人数・テーマによりセッションを2～3つに分け、各1時間～1時間30分の発表時間を設けることを考えております。詳細は改めて連絡します。

## 3. ポスター作成要領

### (1) 展示スペース

発表者・発表団体につき、展示用パネル（縦1,800mm×横1,600mm）1枚を用意します。

### (2) ポスターのサイズ

A判型（JIS規格）を基本とし、原則、A0判（縦1,189mm×横841mm）縦型1枚の中に納まる大きさで自由に作成してください（※必要であ

れば、A0判2枚でも可。その場合、事前にご連絡ください。この範囲内であれば、最小A4判サイズまでで、どのように分割しても可。

参考：A0判1枚=A4判16枚分

A0判1枚=A3判8枚分

A0判1枚=A2判4枚分

A0判1枚=A1判2枚分

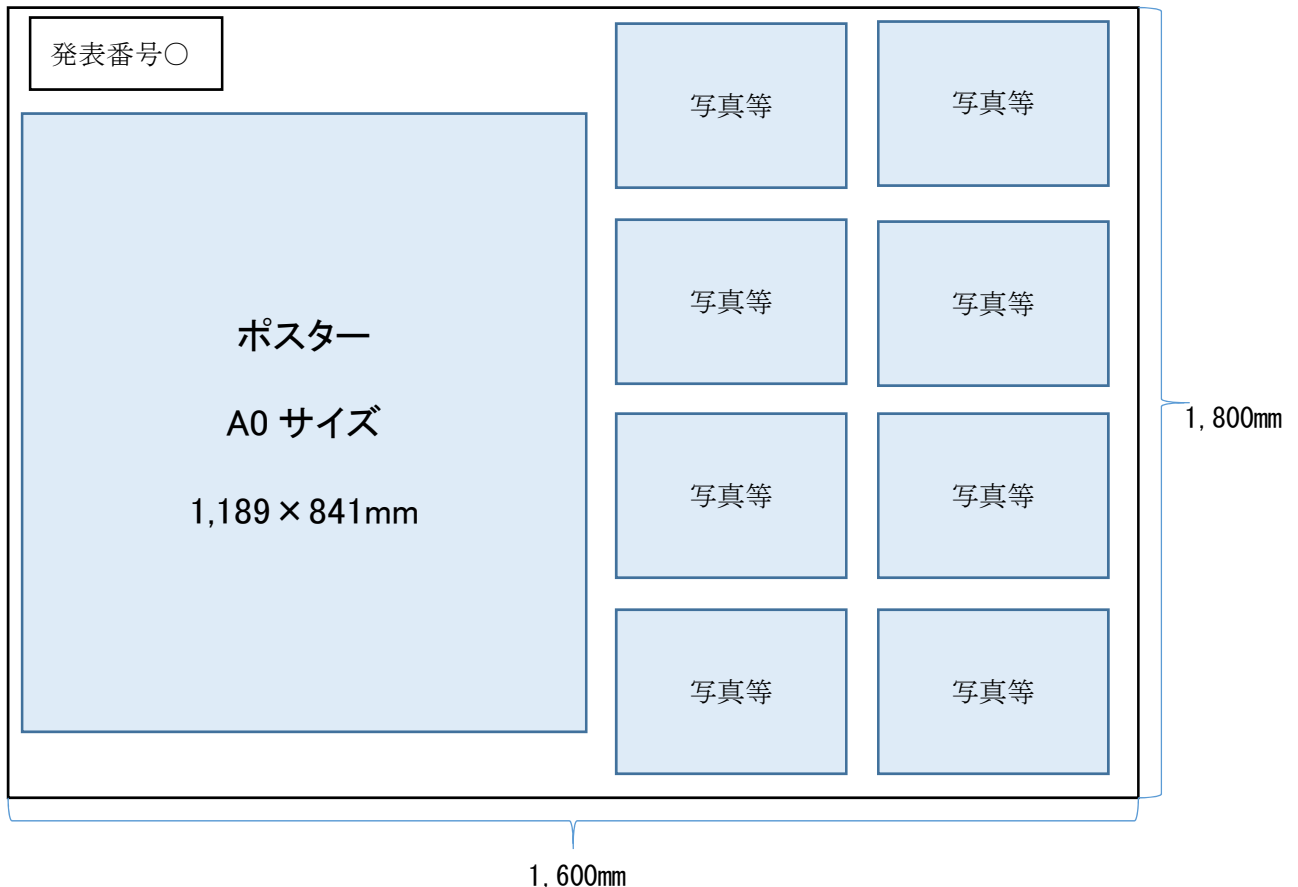
- (3) 途中から聞いた人でも発表内容が分かるように、ポスターを見れば発表内容が分かるように簡潔にまとめてください。
- (4) 市民の皆様への研究成果の還元の間としても位置づけておりますので、可能な限り平易な表現・用語で記載ください。また、発表当日以外も展示いたしますので、専門用語につきましては、注釈を付けるなど工夫いただければ幸いです。
- (5) 使用言語は、原則として、日本語のみとする（海外からの参加発表や学名等については他言語でも可とする）。
- (6) 文字の大きさは、32ポイント以上を推奨いたします。
- (7) ポスターは、パソコンで作成したもの、あるいは手書きによりいずれでも可。ただし、1.5m離れた場所からでも内容を理解できるよう、図表の使い方やフォントサイズを配慮し、手書きの場合は文字の大きさが小さくならないよう、注意してください。
- (8) ポスターの作成・印刷は、可能であれば各自にお願いしますが、印刷について、自前で困難な場合は当市にお知らせください。当市にて印刷いたします（完成原稿のデータを11月22日（木）までに必ずお送りください）。また、島内発表者の皆様につきましては、作成含めてサポートに應じます。

#### 4. ポスター展示及び発表要領

- (1) ポスター展示の準備・タイムスケジュールの詳細は、発表者が決定した時点で連絡します。（展示準備は12/9午前9時00分～9時45分を予定。掲示場所は後日お知らせします）
- (2) 展示用パネルに発表番号を貼ります。後日番号をお知らせしますので、該当番号のパネルにポスター等を掲示ください。
- (3) ポスター、参考資料・写真等は展示用パネルの範囲に収めてください。パネルへの直接の書き込みはできません。
- (4) 聞き手が掲示物に触れなければ理解できないような報告（資料の重ね貼りなど）は避けてください。
- (5) ポスター等は当日持ち込んでいただくか、12月3日（月）まで（必着）に事務局までお送りください（印刷希望の場合はデータを11月22日までに送信してください）。
- (6) 参考資料（図表・写真等）、配布資料等は各自でご準備ください。

- (7) セロハンテープ、画鋏その他の発表に必要なものは、フォーラム事務局で用意いたします。
- (8) 現在、発表人数・テーマによりセッションを分けることを考えておりますので、発表時間帯は改めて連絡します。該当セッション時間中は必ずポスターの前に待機してください。
- (9) 発表は10分程度になるようまとめてください。これを質疑・応答（約5分）を交えながら、該当セッション中に繰り返していただきます。
- (10) 発表者の人数については、制限を設けませんが、割り当ての展示スペースを配慮して、人数を決めください。
- (11) 当日は、発表場所に発表者用イスと、聴衆者用のイス（5脚程度）を用意します。
- (12) 展示パネル前に展示物（パンフレット、標本等）や配布物を置きたい場合は、長机を1台用意します。長机が必要な場合は事前にご連絡ください。
- (13) 12/9日の対馬学フォーラム後は、対馬市交流センター展示ホールに12/24日（月）まで常設展示いたします。展示用パネル1枚に、参考資料・写真等を除きポスターのみを2発表分掲示いたします。フォーラム終了後、常設展示のための再掲示作業も可能であればお手伝いください。なお、常設展後、ポスターは対馬市でお預かりし保管・有効活用させていただければ幸いです。
- (14) その他不明点は事務局までお問い合わせください。

展示例・イメージ：



ポスターの構成イメージ例：



## 5. 発表要旨の作成

事前に「発表要旨」を提出していただき、フォーラム当日、来場者に配布し

ます。

(1) 書式設定

文字数：43字×41 行以内

用紙：A4 サイズ 1 枚（縦型・横書き）

余白：上 30mm、下 25mm、左右 25mm

書体：MS明朝 10.5 ポイント

英数字：半角・Time New

Roman

(2) 記載事項

- ・演題名
- ・発表者名、共同研究者名  
※発表者名の前に○を付ける
- ・本文 【目的】【方法】【結果】【考察】等を記述する
- ・文末に所属  
※発表者名の右肩に\*を記し  
対応させること

(3) 提出方法・締切り

要旨データを以下事務局のメールアドレス宛に、11月16日（金）までにお送りください。手書きの場合は郵送あるいはFAXしてください（事務局にてパソコンデータとして変換します）。

環境 DNA メタバーコーディングによる鰯浦魚類相解明の試み

○會津光博\*、清寿穂子\*\*、佐土佳也\*\*\*、宮下優\*\*\*\*

【目的】  
対馬沿岸では約 20 年前より百折南部より鰯漁が進行し、2016 年には北部的鰯浦湾においても鰯漁が発生した。鰯漁は漁獲がなくなるだけでなく、漁獲を利用していた水生生物にも影響を与えることから、生態系構成にも変化しうる。しかし、従来の漁具や目視に基づく調査手法で生態系の変化を正確にモニタリングするのは困難であり、迅速性に欠けていた。そこで本研究では、環境 DNA を用いた多種同時検出システム（メタバーコーディング）に着目し、対馬湾域においても本技術が適用可能なか検討することを目的に、鰯浦湾を対象とした予備調査を行った。

【方法】  
鰯浦湾の 5ヶ所から 10L ずつ採水を行い、メンブレンフィルター（孔径 0.45µm）を用いた吸引ろ過を行った。その後、フィルターカートリッジに RNeasy 试剂盒を充填し、冷蔵保存した。全 DNA の抽出後、魚類の mtDNA 12S rRNA 領域を PCR により増幅すると共にアダプターの付加とライブラリの調製を行い、次世代シークエンシングによる超並列シーケンシングを行った。得られたデータを処理した後、データベースに基づき各配列の種特定を行った。

【結果】  
鰯浦より採水した海水 10L 中、70 種を超える魚類の配列を検出した。特に DNA 量が多かったのはキジナゴであり、得られた塩基配列の 38% を占めていた。ついでギンソイワシ、クサツグ、アゴノヒゲの一種、ホシカサノハベラの配列が多く検出された。

【考察】  
対馬においても環境 DNA メタバーコーディングが適用可能であることが明らかとなった。また、今回の調査ではキジナゴの割合が多かったが、これは調査時期にキジナゴが採集していたことが影響したと考えられる。

38

\*九州大学大学院工学研究院先端環境型社会システム工学研究センター  
\*\*九州大学大学院工学研究院環境社会部門生体工学研究課 \*\*\* 千葉県立中央博物館

見本

対馬学フォーラム事務局（対馬市しまの力創生課）

〒817-8510 対馬市厳原町国分1441

E-mail: ikigaku@city-tsushima.jp

Tel: 0920-53-6111（内線：457）

Fax: 0920-53-6112